島の病院おおたに　1/2

TOTO

外観

風光明媚な瀬戸内の海に面し、医療療養の場として非常に魅力的な環境に、ふさわしい外観を創出。建物の形状に凹凸をもたせ、さらに窓を多く配置することで、建物内に外光を多く取り入れるように配慮した。

待合

窓からたっぷりと自然光が射し込む明るく開放的な待合室。海と陸をイメージし、瀬戸内の波と病院名「Otani」の一部である「O」の字をモチーフとしたオリジナルのベンチを設置。

1F　小児科トイレ

幼児用小便器と幼児用大便器を設けた小児科トイレ。右下：トイレ横には、お子様が安全に遊んで待てる、キッズコーナーを設けている。

1F　当直室

エレガントなインテリアが特徴的な当直室。医療スタッフがくつろげるよう、ユニットバスは、快適性と節水性を兼ね備えたホテル向け洋風ユニット（1400×1800mm）を採用。

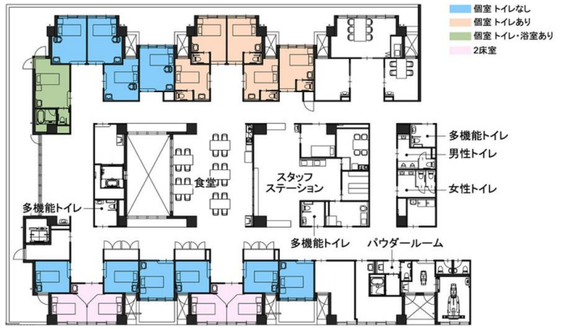
1F　外来リハビリ室横　多機能トイレ

尿流量が測定できる大便器「フロースカイ」を採用。普段通り排尿するだけで尿流測定を行うことができる。

1F　和温療法室　トイレ・洗面

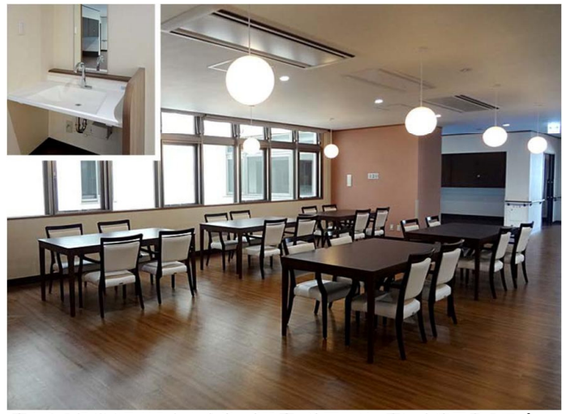
広島県では初の全身を温める治療を行う和温療法室のトイレ・洗面。大便器は、意匠性の高いネオレストを採用。洗面器は、化粧ポーチなどの小物を置くことができるようにツインデッキカウンターを設置。

3F　地域包括ケア病棟　図面



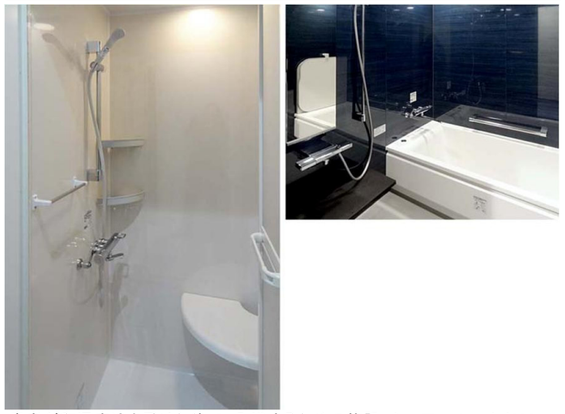
患者のADL（日常生活動作）に合わせて対応できる4タイプの病室を配置。ベットサイド→個室トイレ→共用トイレとADL回復につれてトイレを替えることも、リハビリテーションの動機になっている。

3F　食堂・談話室



窓からの採光を取り入れた食堂・談話室。洗面器は、車いす使用者のアプローチ性に配慮して、ニースペースのある、いす対応洗面を採用。

1F　和温療法室　シャワー室・浴室



患者が和温療法を受けた後で、入浴するための施設。シャワールーム（800×800mm）とデザイン性と心地よさを併せ持つユニットバス（1600×1800mm）を完備。

1F　内視鏡待合トイレ

内視鏡待合室内トイレには、大便器ブースと手洗い器を完備している。左上：内視鏡検査の患者が安心して待ち時間を過ごせるように配慮された個室待合室。

3F　個室（トイレあり）

トイレ・洗面を備えた個室。大便器は、静音性の高いパブリックコンパクト便器フラッシュタンク式を採用。転倒対策に配慮して、背もたれとL型手すりを設置。

3F　個室（トイレなし）

患者のADL向上とスタッフの介護負担軽減を目指し、ベットサイド水洗トイレを設置。2床室を含む、トイレのない全ての個室に配管を設置しており、いつでもトイレを設置・撤去することができる。

2017.05 作成　無断複製・転載禁止　（C）　TOTO. LTD. 2017 All Rights Reserved　28253

島の病院おおたに　2/2

TOTO

3F　個室（トイレ・浴室あり）

トイレと浴室を設けたタイプの個室。転倒対策として、大便器ブースには背もたれ・L型手すり・はね上げ手すりを設置。さらに浴室には、浴槽まわりに手すりを採用した。

3F　2床室

自然光が射し込む、明るく開放的な2床室。多床室を望まれる患者に配慮し、すべてのユニットに複数配置。

3F　洗濯室

晴天の空をイメージした壁紙が印象的な洗濯室。清掃性と節水性が高い掃除口付フチなしトルネード汚物流しと幅広い用途に利用できる大きなボウルが特長のマルチシンクを設置。

4F　健診控室

健診にも注力。高級感のあるインテリアが特長的な、健診などで来院される方のための控室。天井まである大開口の窓からは、瀬戸内海を一望できる。

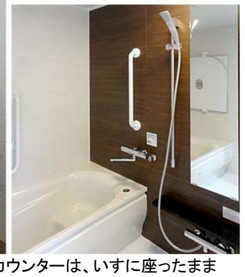
3F　共用部　多機能トイレ

車いす使用者のアプローチスペースや介助スペースを確保した多機能トイレ。立上りや座位の安定を確保するために、L型手すりと跳ね上げ手すりを設置。さらに背もたれを設置し転倒対策に配慮した。

3F　共用部　女性トイレ　洗面コーナー・大便器ブース

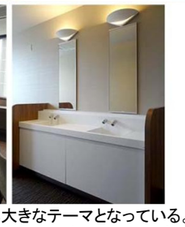
洗面は、洗面ボウルとカウンターに継ぎ目がなく衛生的なツインデッキカウンターを採用。大便器は、節水性が高く連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器フラッシュタンク式を設置。

4F　健診控室　トイレ・洗面・浴室



大便器・洗面カウンター・浴室を完備。洗面カウンターは、いすに座ったままゆっくり使える、座ってラクラクシリーズを採用。

4F　カフェテリア・職員休憩スペース



スタッフが快適に働ける設備の充実も大きなテーマとなっている。左上：患者や家族、スタッフが食事をとるためのスペース、カフェテリア。右上：洗面コーナー。左下：職員休憩スペース。右下：洗面コーナー。

3F　共用部　男性トイレ　小便器コーナー

小便器は、床への清掃性に優れた壁掛タイプの自動洗浄小便器を採用。緊急時に配慮して、小便器間に呼び出しボタンを設置。

3F　パウダールーム

患者家族が使用するためのパウダールーム。大便器ブース・浴室・洗面コーナーを備えており、快適に過ごせるように配慮している。

建築概要

名　　称	医療法人社団大谷会　島の病院おおたに
所 在 地	広島県江田島市能美町中町4711
施　　主	医療法人社団大谷会
設　　計	株式会社ゆう建築設計事務所
施　　工	今井産業株式会社 広電建設株式会社
竣工年月	2017年1月

水まわりの特長

＜施設の概要＞

「島の病院おおたに」は、広島県南西部の瀬戸内海島嶼部、江田島市に位置する医療機関。築30年の経年変化に伴う老朽化や狭隘化から、移転・建て替えを実施。新病院は、風光明媚な瀬戸内海のビーチに面し、『病院らしくない病院』というコンセプトから、島の環境に調和した外観やホテルのようなエントランス・待合室、住宅復帰を目指すための住環境に近い病棟空間、オーシャンビューのカフェテリアを設け、医療と介護の質の向上を図った。

＜水まわりの特長＞

「病院はトイレに始まりトイレに終わる」という院長の思いを実現し、トイレブース数や患者・スタッフにとっての快適性や機能性に配慮したこだわりのトイレとなった。特に旧病棟で課題となっていた、病室からトイレまでの距離が遠いことによる移動負荷やポータブルトイレから漂うにおいの問題、汚物処理による介護負担を解消。病室は、患者のADL（日常生活動作）に合わせて2床室と3つの個室（トイレ有・無・トイレ&浴室有）の計4タイプを配置。なかでも個室のトイレ無の部屋でも、必要に応じて設置・移動・撤去できる、ベットサイド水洗トイレを採用。共用部の大便器は、節水性の高いパブリックコンパクト便器フラッシュタンク式を採用。小便器は、メンテナンス性と節水性に優れた自動小便器を採用した。

2017.05 作成　無断複製・転載禁止　（C） TOTO. LTD. 2017 All Rights Reserved　28253